

Securities News Digest

この Securities News Digest は、ニューヨーク事務所が、米国等における最近の証券関係の興味深いニュースを紹介したものである。

〔一九九五年四月七日〕

議会関係

ディングエル及びマキー下院議員、大手証券会社六社が発表した派生商品取引に係る自主規制案に失望を表明、SECの意見を尋ねる内容の書簡を送付。

フィールズ下院通信金融小委員会委員長、ミューチュアルファンドが他のミューチュアルファンドに投資することを禁止している一九四〇年投資会社法を始め、不要な規制を撤廃する法案を提出する等、連邦証券法的全

面的見直しを行うと発言。

SEC関係

SEC、NASDの銀行系証券会社規制案に対し賛成を表明。

SEC、インターネットを利用して目論見書を交付することを認める解釈通達を发出。

レビットSEC委員長、下院銀行委員会公聴会において、金融サービス改革法案（リーチ法案）の総論には賛成しながらも、(1)銀行がブローカー・ディーラー規制から大幅に除外されていること、(2)銀行の証券子会社に対する二重規制が存在すること、(3)証券会社が銀行を保有する際に事業会社を手放さなければならず不公平であることに懸念を表明。

SEC、注文回送支払（payment for order flow）に係る開示義務強化の実施を当初予定の四

月から一〇月に延期。

SEC、投資家自身の名義で株券を保管することなく株式を保有することができる「直接登録システム」を検討中。

SEC、投資信託のリスクを投資家に開示する方法について「コンセプト・リリース」を発表、コメントを募集。

CFTC関係

シャピロCFTC委員長、CFTCと英国SIBは共同で世界の主要な先物監督当局の会議を招集し、ベアリングズ危機の検証と「市場及び投資家保護案」の作成を行うと発表。同時にCFTCは、ベアリングズ事件で注目されるようになった市場の健全性及び投資家保護に関して徹底的に検証を行うと発言。

取引所・自主規制機関等関係

NASDAQ、自己改革のための施策を推進中。施策には規則変更案に対する証券会社からの意見聴取、小口投資家の指値注文の新しい取扱方法、株価スプレッド改善策の調査及びNASDAQからNYSEへの上場変更予防策が含まれる。

サンドナーCME議長、エマージング・マーケットに関する特別諮問委員会設立を発表、投資家にメキシコその他のエマージング・マーケット投資に係るリスクを管理できる手段を提供していくと発言。

NASDAQ、同市場で談合が行われているとの主張に反証する学術論文を発表。

銀行監督機関関係

グリーンSPANFRB議長、多くの国において、証券の所有権移転・担保化が依然として券面の存在とその物理的移動を前提にしていると指摘し、

金融市場参加者は、世界の主要市場における証券の所有権移転・担保化関連の法制の見直しを真剣に考慮すべきであると発言。

その他

ラクリッツSIA会長、下院銀行委員会資本市場小委員会において、ベーカー議員の提出した金融サービス改革法案（上院のダマト案に同じ）は証券と銀行の「真の相互参入」であり、リーチ案より好ましいと証言。

小規模銀行の投資信託販売業務からの撤退続く。

グラスステイーガル法の廃止により証券業界は買収・合併の波に曝される見通し。

Talk of the Town

素朴な質問

アメリカン証券取引所は、NASDAQに対するネガティブな世論形成を狙い、"NASDAQが

優れた市場なら、なぜNASDAQ会員証券会社のほとんどはNYSEに上場しているのですか”と問いかける徹底的なマーケティングを展開。アメリカン証券取引所への上場を企業に呼びかけている。